

平成29年度老人保健健康増進等事業

在宅医療・介護連携推進事業に係る効果的な事業の推進方法と評価に関する調査研究事業

公立大学法人 埼玉県立大学

本事業では、市町村による在宅医療・介護連携推進事業の円滑な展開を支援するため、事業展開プロセスの整理（他地域の展開ノウハウの解説）ならびに事業展開のための工程チェックリストの検討を行い、それらを「在宅医療・介護連携推進事業の進め方マニュアル」としてまとめた。

1. 事業展開プロセスの整理

各種報告書や研修等で先進事例は報告されているものの、多くは最終形が示されたものであり、具体的な展開プロセスは示されていない。そのため、市町村にとって活用できないといった課題がある。

そこで、本事業では、委員会委員からの推薦地域、先行研究から抽出した市町村及び関係者へのヒアリングを実施し、①事業展開上の基盤となる地区医師会との連携、②在宅医療・介護連携推進事業全体のマネジメント方法、③連携強化を具体的に検討する際に、良く挙がってくる4つのテーマ（日常の療養時／入退院時／急変時／看取り期）ごとのマネジメントの展開プロセスの解説及び整理を行った。その結果、在宅医療・介護連携推進事業を円滑に展開するためには、

- 1) 協議会（親委員会、作業部会）を設置する際、検討体制や検討内容、検討方法などを関係団体等に事前に相談しておくこと
- 2) 在宅医療の現場の視察、医療・介護関係者へのヒアリングなどを通じて、在宅医療・介護の現場を知ること、ないしは専門職の問題意識等を知ろうとすること
- 3) 庁内の関係部局と、事前相談や情報共有を図っておくこと
- 4) 会議体での検討状況を関係者間で共有すること
- 5) 進捗状況を定期的に確認するとともに、これまでの取組の振り返り（良かった点、改善すべき点など）を行うこと

などがポイントであることがわかった。また、対策の実行状況（例：研修会を〇〇回開催したなど）のモニタリングは行われているものの、連携上のあるべき姿の検討や目標設定、目標の達成状況の確認作業などは不十分であることもわかった。

2. 事業展開のための行程チェックリストの作成と提案

1. の結果をもとに、在宅医療・介護連携推進事業を推進するための工程チェックリストを作成した。今後、本報告書が市区町村単位での在宅医療・介護連携の推進に役立つことを期待したい。